

議会だより



緑桜学園 お茶摘み集会

特集 市制施行20周年次世代の訴え

もくじ

特集	2	議案等審議	4
請願・陳情	7	一般質問	8
閉会中議会活動	15	次回定例会の日程	16

特集

Naka City
20th
Anniversary
市制施行20周年

市制施行20周年次世代の訴え

平成17年に旧那珂町と旧瓜連町が合併し那珂市が誕生しました。本年度、市制施行20周年の節目を迎え、今年度20歳になる3人の若い市民のかたに、那珂市への希望のメッセージを伺いました。



てるぬま 照沼
こうせい 晃誠さん

消防士を目指し現在アルバイト中。高校は県外へサッカー留学するほどの腕前。休日は消防団活動などにも参加し、地域へ恩返しを忘れない。



おおはた なつ 夏鼓さん

大学2年生。子どものころから祭り大好き青年。文化の伝承を積極的に行っている。那珂市大好き。



ふるほし あゆむ 古橋 歩さん

社会人2年目。野球をこよなく愛し高校時はキャプテン。現在は草野球でプレーし、また地域では中学生に野球指導を行っている。

将来の夢を教えてください。
照沼 幼少からの夢である消防士になりたいです。那珂市を、どこの街よりも、安全で住みやすい街にしたいですね。

古橋 自分の住んでいる地区にあった芳野幼稚園が廃園になったり、芳野小学校が戸多小学校と統合したり、那珂市も少子化が進んでいると実感しています。

大畠 生まれてからずっと菅谷に住んでいます。しかし、349号バイパスのイオン周りだけが発展していて、はげしく街の偏りを感じています。

照沼 山形県に高校3年間サッカー留学していましたが、コロナ禍で帰省できなかつたので、帰ってきたときに、新しい家やお店が建っていて、一気に街の雰囲気が変わった事を覚えています。浦島太郎状態です。

20歳になって那珂市が変わったと思うところを教えてください。
大畠 349号バイパスのイオン周りだけが発展していて、はげしく街の偏りを感じています。



大島 年齢を重ねても仲間同士集える街になるのが夢です。お祭りが好きなので、仲間と一緒にこれからも集まっていきたい。将来については、今思案中です。あれこれ悩んでいます。

古橋 健康第一。今、大洗の野球チームでプレーしています。大好きな野球を続けていきたいです。

那珂市の、おすすめスポットはどこですか。

照沼 額田コミュニティ広場。昔からサッカーをやっていた思い出の場所。春は桜がきれいですよ。

大島 菅谷両宮遊歩道。散歩やランニングをして、自分が一番落ち着ける場所です。ね。景観も最高。

古橋 野球でお世話になった、那珂総合公園。今でも野球の手伝いなどでよく行きます。あと田舎に思われがちですが、市内の飲食店やカラオケも、仲間と結構楽しんでいます。

今後どんな那珂市になってほしいですか。

照沼 気軽に遊べる施設がないので、小さい子供が遊べるような場所がもっと増えてたらと思っています。

大島 小学生のころ、サッカーできる広場がなかった。例え、海外などにあるバスケットコートとかフットサル場のようなちよつと狭い場所でもいいから遊べる、集える場所があったらいいと思います。

古橋 温泉が好きなので。前にあった温浴施設のようなものがあつたらいいなと思います。娯楽施設とか、老若男女楽しめるような、遊び心を持った那珂市になってほしいです。

今年20歳を迎える若者は、幼稚園卒園時は東日本大震災、高校の3年間をコロナ禍中に規制を強いられた年代。そんな環境にも負けず、力強い大人に成長してくれた3人でした。

●令和6年 第2回定例会 ●

那珂市の

こんなことが決まりました

◆会期 18日間 6月4日～6月21日

《傍聴者 140人》

今回提出された議案等は
 市長提出案件…18件
 請願・陳情…3件
 議会提出案件…1件
 計22件

提出された議案等とその結果

議案等番号	議案等名	内 容	結果
報告2	令和5年度那珂市一般会計繰越明許費繰越計算書について	20事業、合計11億8688万6000円繰越。	—
報告3	令和5年度那珂市下水道事業会計予算繰越計算書について	1事業、2287万1000円繰越。	—
報告4	令和5年度那珂市一般会計継続費繰越計算書について	1事業、800円繰越。	—
報告5	令和5年度那珂市水道事業会計継続費繰越計算書について	2事業、6132万5000円繰越。	—
議案33	専決処分について（那珂市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例）	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の改正に伴い、引用していた表を削除するもの。	承認
議案34	専決処分について（那珂市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例）	茨城県が実施の、市町村で行う医療福祉の施策に対する助成措置について、対象の拡充を行うもの。	承認
議案35	専決処分について（那珂市税条例の一部を改正する条例）	地方税法等の改正に伴うもの。個人市民税について、令和6年度分の個人住民税の特別税額控除に係る規定の追加など。	承認
議案36	専決処分について（那珂市都市計画税条例の一部を改正する条例）	地方税法等の改正に伴うもの。都市計画税（土地）の負担調整措置の継続など。	承認
議案37	専決処分について（那珂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の後期高齢者支援金等課税額の賦課限度額の引き上げ及び低所得者軽減における5割軽減判定所得、2割軽減判定所得の基準額を改正するもの。	承認
議案38	専決処分について（令和6年度那珂市一般会計補正予算（第1号））	歳入歳出それぞれ4億1805万5000円を増額し、総額を235億1805万5000円とするもの。令和5年度からの国による物価高騰対策として、低所得者や定額減税しきれないと見込まれる者を支援するための経費を追加計上するもの。	承認
議案39	那珂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正により、小規模保育事業所及び事業所内保育事業所における満3歳以上の児童に係る保育士・保育従事者の配置基準を見直すもの。	可決

議案等番号	議案等名	内 容	結果
議案40	那珂市地方活力向上地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	地域再生法第17条の6の地方公共団体等を定める省令の改正及び対象施設の追加に伴い、本条例の規定による固定資産税の特別措置の対象となる事業者の認定期間を2年間延長し、対象となる施設に子育て支援施設を追加するもの。	可決
議案41	令和6年度那珂市一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ1億5067万3000円を増額し、総額を236億6872万8000円とするもの。児童手当制度の見直しに伴うシステム改修に係る委託料の計上など。	可決
議案42	令和6年度那珂市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ669万6000円を増額し、総額を54億8669万6000円とするもの。マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けたシステム改修に係る委託料等の増額。	可決
議案43	令和6年度那珂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ13万円を増額し、総額を50億8013万円とするもの。高額医療合算介護予防・生活支援サービス費の見込み増に伴う負担金の増額。	可決
議案44	令和6年度那珂市下水道事業会計補正予算(第1号)	資本的収入8800万円を増額し、総額を11億7140万7000円とするもの。資本費平準化債が拡充されたことによる、公共下水道資本費平準化債の限度額の増額。	可決
議案45	物品売買契約の締結について	消防団第1分団第1部配備の消防ポンプ自動車を購入するもの。契約金額：2535万3000円	可決
議案46	茨城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の改正に伴い、規約別表中の被保険者証等の用語の整理を行う他、関係市町村の共通経費負担金の納入額算出に用いる人口及び高齢者人口の算定基準日などの整理を行うもの。	可決
陳情3	瓜連支所の利活用に関する陳情について	請願・陳情の内容は7ページを参照。	不採択
陳情4	瓜連庁舎に歴史民俗資料館の拡張・利活用を求める陳情書		不採択
陳情6	土地利用規制の見直しに関する陳情		不採択
選挙5	那珂市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	選挙管理委員会委員及び補充員の任期満了に伴い、新たに委員及び補充員を選挙するもの。	当選

賛否が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対

※議長（木野広宣議員）は採決に加わりません。

議案等名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		榊原一和	桑澤直亨	原田悠嗣	木野広宣	鈴木明子	渡邊勝巳	寺門勲	小池正夫	小宅清史	大和田和男	富山豪	花島進	寺門厚	萩谷俊行	笹島猛	君嶋寿男	遠藤実	福田耕四郎
議案第41号 令和6年度那珂市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第3号「瓜連支所の利活用に関する陳情」に対する継続審査の動議	否決	×	×	○	—	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×
陳情第3号 瓜連支所の利活用に関する陳情について	不採択	×	×	○	—	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×
陳情第4号「瓜連庁舎に歴史民俗資料館の拡張・利活用を求める陳情」に対する継続審査の動議	否決	×	×	○	—	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×
陳情第4号 瓜連庁舎に歴史民俗資料館の拡張・利活用を求める陳情書	不採択	×	×	○	—	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×

※議案第41号は、新型コロナウイルスワクチン接種事業について反対討論がありました。

※動議…会議中に予定議案以外の議題を議員が提出すること。

◆議案第45号

物品売買契約の

締結について

消防団第1分団第1部配備の消防ポンプ自動車を購入に係る物品売買契約を締結するためのものです。

Q 今年度予算で第1分団第1部と第2部の車両を1台ずつ購入する予定となっていますが、もう1台は今年度中に購入する予定ですか。

A 第1分団第2部の車両分は、約1715万8000円となり、金額的に議案件件ではないため、今回の説明には入っていませんが、すでに契約は済んでいます。

Q 同じポンプ車で金額の差があるのはなぜですか。

A ポンプ車とポンプ積載車の違いです。

Q 消防団の車両は何年経過すると更新となるのですか。

A 24年を目安に財政状況を鑑みて順次車両を更新しています。

Q 使い終わった車両の処分・売却はどうしているのですか。

A 古い車両は、市のオークションにかけて売却しています。

Q 売却費はどれくらいになりますか。

A 車両により差はありますが、数万円程度から大きなはしご車だと過去には、160万円程の値段が付くものもありました。

Q 環境に配慮するため、エンジン形式をディーゼルからガソリンへ転換していくことについてはいかがですか。

A 車両の大きさによりメーカーが選定したエンジンとなっており、国の排ガス基準もクリアしていることから、今のところ入札時にエンジン形式を指定する予定はありません。

◆議案第39号

那珂市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

小規模保育事業所、事業所内保育事業所における満3歳以上の児童に係る保育士・保育従事者の配置基準が見直されたため、条例の一部を改正するものです。

Q 保育士を確保するためには、雇用に必要な経費を増やす必要があると思いますが、保育士不足に対する国の政策はどのようなものがありますか。

A 保育士不足への対応として、処遇改善に必要な人件費の助成が行われるほか、出産などで現場を離れた保育士の掘り起こしを進めていくことも国の通達に含まれています。

Q 国からの補助は、必要な費用が賄えるだけの額ですか。

A 保育士一人当たりの保育する児童が減ることに伴い、保育士の人数が増えた場合、配置に要する経費の差額に相当する人件費の加算措置が設けられていますので、賄えると思われれます。

Q 保育士の負担軽減は分かりますが、今日の人材不足についてはどう考えますか。

A 当分の間現行基準での運営を可能とする経過措置が設けられます。なお、市内保育所では、改正後の基準をすでに満たしていますので、今のところ保育士が不足している状況ではありません。



請 願 陳 情

今回の定例会で採決した請願・陳情の概要をお知らせします。

《陳情 3件》

陳情第3号 瓜連支所の利活用に関する陳情について

根本正顕彰会 会長 山田 正巳

不採択

歴史民俗資料館の瓜連支所への移転、機能（名称）の変更、那珂市名誉市民コーナーの新設を要望するものです。

審査の中では、今後地域の皆様を交えて、地域の活性化につながるよう、幅広く検討していく段階であるため、まだ要望の内容を検討するには至らない、少しでも早く協議会を立ち上げることが先ではないか、時期尚早であるという意見が出ました。

本会議では、継続審査にすべきという意見が出ました。

本会議での採決の結果、不採択と決定しました。

陳情第4号 瓜連庁舎に歴史民俗資料館の拡張・利活用を求める陳情書

瓜連・歴史を学ぶ会 役員一同 代表 加藤 雅美

不採択

瓜連庁舎を歴史民俗資料館などとして拡張・利活用するとともに、分庁舎を活用して公文書館の設置を求めるものです。

審査の中では、陳情第3号と同様、今後地域の皆様を交えて、地域の活性化につながるよう、幅広く検討していく段階であるため、まだ要望の内容を検討するには至らない、少しでも早く協議会を立ち上げることが先ではないか、時期尚早であるとの意見が出ました。

本会議では、陳情第3号と同様、継続審査にすべきという意見や、本陳情に賛成する討論が出ました。

本会議での採決の結果、不採択と決定しました。

陳情第6号 土地利用規制の見直しに関する陳情

不採択

農業振興地域の整備に関する法律に基づき、また、農用地区域の指定が土地所有者の権利を制限していることを鑑みて、迅速に農用地区域指定の見直しを求めるものです。

審議の中では、市では計画を見直す作業について、すでに着手していることや、陳情の理由には個別の案件も含まれており、以前、個人の開発に関する案件については議会として取り扱うべきではないとしたとの意見が出ました。

本会議での採決の結果、不採択と決定しました。

※陳情者の住所・氏名については、掲載の希望の有無を確認しています。

一般質問

Q & A

《質問者 12名》

※一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しており、内容や表現については各議員の文責において掲載しています。

P 9 小宅 清史 議員

- ◇菅谷の雨水対策を考える
- ◇菅谷の道路景観を考える
- ◇文化財を考える
- ◇那珂市名誉市民について考える

P 9 大和田和男 議員

- ◇カスタマーハラスメントについて
- ◇自治体間競争に打ち勝つ自主財源の確保を

P 10 榊原 一和 議員

- ◇那珂市のごみ問題を考える
- ◇地域コミュニティを考える

P 10 鈴木 明子 議員

- ◇養育費について
- ◇パートナーシップ制度について
- ◇HPVワクチンについて
- ◇女性職員の登用状況について

P 11 遠藤 実 議員

- ◇選挙の投票率向上について
- ◇災害時の協力協定について
- ◇フードロス削減の推進について

P 11 寺門 厚 議員

- ◇那珂市の公共交通事業について
- ◇農業の担い手確保について
- ◇ラーケーション制度について
- ◇那珂市小中学校の体育館等へのエアコン設置について

P 12 原田 悠嗣 議員

- ◇瓜連庁舎について
- ◇道の駅建設について
- ◇学校教育について
- ◇新型コロナワクチンについて

P 12 桑澤 直亨 議員

- ◇道の駅整備における課題と将来展望について

P 13 小池 正夫 議員

- ◇農地活性地域計画について
- ◇小中一貫教育について
- ◇部活動の地域移行について

P 13 渡邊 勝巳 議員

- ◇生活基盤の整備について

P 14 花島 進 議員

- ◇額田地区の道路整備について
- ◇オオキンケイギクへの対応について
- ◇難聴対策について
- ◇マイナンバー保険証について
- ◇小学校、中学校の暑熱対策について
- ◇成人の引きこもりへの対応について
- ◇再生可能エネルギー利用蓄電池などへの補助について

P 14 富山 豪 議員

- ◇養護老人ホームの措置費の改定について

小宅 清史議員

新たに白土松吉先生を 名誉市民へ

検討を進めていきます



Q 那珂川と久慈川に挟まれた那珂大地は水に乏しく水田には適さない場所でした。白土松吉先生は農家の安定収入を図るために痩せた土地でもつくれるサツマイモの栽培の普及に努めました。そしてサツマイモの収穫高をそれまでの2倍以上にする白土式甘藷栽培法を確立しました。

もう一つの功績は、小場江堰用水の改修工事の実現に尽力されたことです。強い反対の中、自らの土地を売り、命の危険を顧みずこの事業に尽力されました。下江戸の揚水施設と総延長18キロメートルに及ぶ導水路と幹線水路工事は1966年に完成し、これによって那珂大地は那珂川の水を利用して水田が作れ

るようになりました。これらの功績を考えれば、白土松吉先生は名誉市民にふさわしい人物と考えます。いかがでしょうか。

A 企画部長 白土松吉氏につきましては、甘藷栽培の研究と改良に取り組み「さつまいもの神様」といわれるほど、本市のみならず県内の農業振興においても尽力されたかと認識しています。今回、議員から推薦をいただきました白土氏の功績をあらためて認識したところです。市としても、新たな名誉市民の選定に向けて、検討を進めていきたいと思えます。

議員のひとこと
名誉市民とし干し芋のPRにも一役かってもらいたい。

大和田 和男議員

自治体間競争に勝つ為の 自主財源の確保。市の施策は 各種施策を進め、好循環を生み出す



Q 基金を元手とした有価証券等の購入で利息収入を得てはどうですか。

A 会計管理者 元本割れ等のリスクを考慮しながら進めていきます。

Q 公有財産の貸付促進を願うとともに、ネーミングライツ等の広告収入を増やしていただきたい。

A 総務部長 他自治体を参考にしながら調査研究をしていきます。

Q 自治体の課題解決に効果的なガバメントクラウドファンディング（以下GCF）を活用し、市全体でまちを盛り上げ、寄付者を広げてはどうですか。

A 企画部長 一般的なふるさと納税は返礼品をPRすることで寄付を募っていますが、GCFは具体的な

事業を前面に出し、寄付の使い道をより詳細に説明し寄付を募ります。事業内容によっては多くの賛同が得られると考えています。

Q 茨城県産業技術イノベーションセンターと連携を図りながら、産業育成による自主財源の確保に努めてください。また中小企業・小規模企業振興基本条例を制定してはどうですか。

A 産業部長 必要性も含め調査を行います。

Q 那珂IC周辺開発による企業誘致、産業創出で自主財源の確保を願います。

A 企画部長 具体的な話にまでは至っていません。
議員のひとこと
個人市民税、固定資産税に頼る行政運営からの脱却を。

榊原 一和議員

本市のごみ処理における 年間の経費の推移は

約5億9200万円で過去最も高い



Q ごみ処理にかかる経費の増加は、財政のひっ迫にも直結する問題と考えています。本市のごみ処理における年間の経費の推移はどのようになっていきますか。

A 市民生活部長 10年前の平成26年度は約4億5600万円、5年前の令和元年度は約4億9400万円。昨年、令和5年度のごみ処理経費は、約5億9200万円となり、これまでで最も高くなりました。処理するごみの量が増えたこと、処理にかかる電気代や有害物質を取り除く薬品代の高騰が増加の原因です。

Q ここ10年で約1・4億円増加となり、ごみ処理費用の増加は、環境保護と経済負担のバランスを考えると重要な課題と考えま

す。本市におけるごみ問題の今後のあり方を伺います。

A 市民生活部長 これまでもごみの排出量や焼却処理費用の抑制は課題でした。令和7年度からは焼却炉の改修予定も控えており、他自治体へ処理をお願いしなければならぬ状況となります。今後、ごみの中でも重量のある生ごみの減量や、これまでは燃やすごみとしていたプラスチック製容器包装を分別収集にするなど、リサイクルの推進に一層取り組んでいきます。

議員のひとこと

ごみ袋の価格も、考え直す時期になっていると思います。

鈴木 明子議員

養育費の文書での 取り決め率向上について

離婚届配布時、必要書類を添付する



Q 子どもの貧困が問題になっている中、養育費の必要性は大きいですが、ただし、日本の受領率は、先進国の中でも、類を見ないほどの低いレベルです。本市の養育費の受領状況、また、養育費の取り決めの状況はどうでしょう。

A 保健福祉部長 令和5年度の児童扶養手当受給者432人のうち、養育費を受け取っているかたは137人(31・7%)。養育費の取り決めを文書で行っている116人のうち、養育費を受け取っているかたは83人(71・5%)で、取り決めを口頭で行っている89人のうち、養育費を受け取っているかたは50人(56・1%)です。

Q 養育費受領率は本市で

も低値ですが、その中でも、文書での取り決めを行っているかたの受領率が高く、取り決め率を向上する必要性があることが分かります。また、こども家庭庁でも、養育費取り決めの向上を推進しており、促進策の一つとして法務省作成の「こどもの養育に関する合意書作成の手引きとQ&A」を、離婚届用紙をとりに来たかたに、渡す取り組みを本市で行うことを提案します。

A 市民生活部長 今後は、離婚届の用紙と共に必要な情報をまとめた資料を渡すようにします。

議員のひとこと

現在受領のないかたへ引き続き支援をお願いします。

遠藤 実議員

フードロス排出事業者と必要な事業者のマッチングを

県のプロジェクト普及に尽力する



Q 近年の気候変動に対応する目的の食品ロス削減推進法が施行されたため、市も各種施策を充実していただきたいです。市内でフードロスを抱える事業者とそれを活用したい事業者のコンパクトなマッチングが出来るよう、社会的な仕組みを構築していただきたいですが、いかがですか。

A 市民生活部長 既に取り組みが進んでいるいばらきフードロス削減プロジェクトの普及に努めていきます。
Q 現在でも実施されているフードバンク・フードパントリー事業を広く周知して、食品の提供やボランティア人材を募るなど幅広く支援していただきたいですが、いかがですか。

A 保健福祉部長 食品を

受けたい世帯は年々増加傾向にあり、安定的に食材を提供していくためには、寄付者やボランティア人材を増やす必要があります。引き続き、制度の周知やボランティア募集に取り組みます。

Q 国の食品ロス削減推進サポーター制度を市として周知し、サポーターを地域で増やすことによつて、フードロス削減活動をさらに推進していただきたいですが、いかがですか。

A 市民生活部長 市民や事業者には制度を知っていただき、サポーターを増やすようホームページや広報紙などで広く周知します。

議員のひとこと

フードロス対策は地球を守るために不可欠な事業です。

寺門 厚議員

運転免許自主返納者等支援事業の特典複数化を

他自治体の動向を注視し検討



Q 那珂市地域公共交通計画では、高齢者や障がい者をはじめ、多様な利用者を想定した交通環境の充実を図っていくとしています。その中でも、現行の公共交通の基盤であるデマンド交通利用者の利便性向上や事業運用の効率化が進められています。高齢者を含め、買い物困難者対応の交通手段の確保はどう考えていますか。

A 建設部長 民間タクシーや、利用要件に基づき利用者登録をすれば、誰でも利用できるデマンド交通「ひまわりタクシー」にて大型商業施設などに乗り降りできるなど、買い物困難者等の一助となっています。

Q 運転免許自主返納者には、デマンド交通「ひまわり

りタクシー」利用券が交付されています。特典はこれ一つのみなので、運転免許自主返納者対策として、デマンド交通「ひまわりタクシー」利用券以外に、電動アシスト自転車や電動車いすの購入補助を行うなど、外出の機会を多く取れるよう選択肢を拡大してはいかがでしょうか。

A 建設部長 運転免許自主返納等支援事業の周知を行うとともに、外出機会の増加につながる具体的手法は、ご提案いただいた内容を含め、他自治体の動向を注視していきます。

議員のひとこと

運転免許自主返納者支援事業の対象者特典充実促進を。

原田 悠嗣議員

新型コロナウイルスワクチンの被害状況周知について

わかりやすい情報発信に努めます



Q 予防接種健康被害救済制度が始まってからの47年間の新型コロナウイルスワクチンを除いた全てのワクチンでの死亡認定数は158件、新型コロナウイルスワクチンの死亡認定数は593件（2024年5月21日時点）となっています。過去のワクチンと比較して新型コロナウイルスワクチンの健康被害認定数、死亡認定数は異常なほど多くなっています。今後のワクチン接種について判断する上でも、新型コロナウイルスワクチンに関する健康被害状況を市民の皆さんにわかりやすくお知らせしていく必要があると考えますが、今後の周知方法についてどのような進め方について伺います。

A 保健福祉部長 4月から定期接種へと制度が移行

していることから、その内容の周知と合わせて、健康被害に関する情報について、市民に対しわかりやすい情報の発信に努めていきます。

新型コロナウイルスワクチンを除くこれまでの全てのワクチン (期間：1977年2月～)	158件認定
新型コロナウイルスワクチン (2024年5月21日公表)	593件認定
新型コロナウイルスワクチン (期間：2021年2月～)	618件認定 (2024年6月11日公表)

予防接種健康被害救済制度死亡認定数
(データ元：厚生労働省)

議員のひとこと
新型コロナウイルスワクチン健康被害の正しい情報周知を。

桑澤 直亨議員

道の駅整備における財源に合併特例債を活用するのかわりな地方債で財源調整していく

有利な地方債で財源調整していく



Q 基本計画による建設費26億円を捻出するにあたっては、国からの補助金や地方債の発行が必要かと思いますが、国から見込まれる各種補助金の総額はいくらかですか。

A 産業部長 デジタル田園都市国家構想交付金など基本計画における概算事業費をもとに算出すると総額で約7億6600万円となっています。

Q 各種補助金の総額、約8億円を差し引いた残りの約18億円が市で負担しなければならぬ金額です。この金額を捻出するには、地方債の発行、いわゆる借金をする必要はあるかと思いますが、合併特例債を活用することにより、市の負担を減らすことが可能となり

ます。この合併特例債とはどのような地方債ですか。

A 企画部長 対象事業費の95%まで地方債を借り入れることができ、その元利償還金の70%が普通交付税で措置される、財政的に有利な地方債です。

Q 今後起債可能な合併特例債の残高は。

A 企画部長 建設事業分として約23億円です。

Q 道の駅整備に合併特例債を活用しますか。

A 企画部長 内容を精査していく中で、合併特例債も含め、有利な地方債の活用を念頭に、財源調整を図っていきます。

議員のひとこと
多くの課題を解決し、市民に愛されるランドマークへ。

小池 正夫 議員

地域計画の策定の 主旨内容は

高齢化人口減少の耕作放棄地防止

Q 地域計画策定の主旨は
どういったものですか。

A 産業部長 農業者の減少・高齢化や、それに伴う耕作放棄地の拡大の懸念など、地域が抱える農業の課題について、5年後、10年後、地域の農地は誰が利用し、どのようにまとめていくかといった農地の集約に向けた方針などを話し合い、地域農業の将来を農地の活用計画として定めるものです。対象となる農地は、農業振興地域内の全ての農地となります。地域計画は、地域農業のあり方や農地一筆ごとの農地利用の姿を明確化した計画と地図から構成され、令和4年度までに策定した「人・農地プラン」を土台に策定する計画に10年後の農地利用の耕作者を



明示した目標地図を加えたものとなります。

Q 昨年度実施した地域での話し合いの成果と課題は。

A 産業部長 5地区での話し合いが進んでおり、瓜連地区では約50ヘクタールの農地集積が完了しています。課題としては、地域のかた、担い手、農地所有者など参加者をどう確保するか、地域計画策定への理解・合意形成や地域での話し合いの場を開催するための事前準備、地権者のかたへの農地活用に関するアンケート回収などかなりの労力と時間を要することが分かりました。

議員のひとこと

市の基幹産業である農業を着実に引き継ぐことを望む。

渡邊 勝巳 議員

合併浄化槽処理水を道路 横断し側溝接続できないか

調査研究を進めていきます

Q 道路に雨水が溜まり、通行が困難になるのは道路幅員が広くても狭くても同じです。幅員4メートル未満の暫定舗装道路への両側側溝を含めた整備方法について検討を進める考えがあるか伺います。

A 建設部長 整備基準道路整備、狭あい道路整備と違い、4メートル未満の道路は、暫定的な道路整備であるため、側溝を設置した整備は行っていませんが、近隣市町村の整備状況などを踏まえ、市としての考え方を改めて整理します。

Q 道路の片側にしか側溝がない場合、側溝のない側に住んでいるかたは道路の横断を認めていないので、側溝に放流することが出来ず、地下水位が高く、浸透



しにくい場所であっても、宅内処理しなければならぬ。合併浄化槽処理水放流管の防護方法を工夫することで、道路を横断することが可能となると考えますが、これらについて検討を進めるか伺います。

A 建設部長 議員ご提案のとおり、市場には道路の埋設にも影響のない製品が開発されており、管理上支障をきたさないような接続方法について、それらの材料の活用と併せて近隣自治体の対応状況も参考にしながら調査研究を進めます。

議員のひとこと

来年度4月1日に運用開始できるように願います。

花島 進議員

難聴対策として、音声→文字 変換ツールを推進しては

窓口で使用するなど考えたい

Q 難聴対策として、補聴器の補助は他の自治体にあつて、私も検討してもらいたいと思いますが、有効に使うには、本人の努力も必要、また高額でもありません。市が2万円、3万円補助しても、必要な金額の半分にも満たない例がほとんどです。

A 一方、音声→文字変換は、無料のプログラムがあります。装置は必要でも、普段持っているスマートフォンなどがあれば使えるので、考え方を变えて、その音声→文字変換の技術を応用してはどうかと思います。

難聴者の協力を募つて、いくつかのアプリの使い勝手などを試し、結果を市民に公表してみてもどうかと思いますか、いかがですか。



A 保健福祉部長 聞こえに不安をお持ちの方が窓口にお越しの際に、必要に応じてアプリを活用することで、お越しになつた方の不安を軽減するとともに、補聴器以外の対策があることをご案内することができると考えます。

音声文字変換アプリは複数あり、またAIを活用した改良が行われていることから、まずは実際にアプリを活用されている方のご意見をお伺いし、実験的に窓口で活用できないか確認していきたいと思ひます。

議員のひとこと

補聴器の他、音声→文字変換ツールを普及したい。

富山 豪議員

社会情勢に応じた措置費の 改定をお願いしたい

改定に向け協議を進めていきます

Q 厚生労働省は本年3月、各自治体に対し養護老人ホームと軽費老人ホームの老人保護措置費支弁額（運営費）を増額するための計算方法の例等をQ&Aなどで示した事務連絡を出したとされています。また、その中で養護老人ホームの運営費に充てるよう地方交付税で措置されている算定単価が上がっていることも示しており、施設が適切な運営と職員の処遇改善ができるよう支弁額の改定を求めているとされています。それを受け、本市は改定を行うのか、またその時期はいつ頃になるのか伺います。

A 保健福祉部長 現在、通達内容を確認し措置費の改定に向け、改定時期も含めて関係部署と協議を進め

ているところです。

Q 措置費改定の権限は2006年に国から市町村に移譲されており、その後18年間、消費者物価指数や最低賃金の上昇に見合った改定がほとんどされていません。また、国が示した指針とは1.38倍の開きがあるとされますが、現状の差をどのように考えているのか伺います。

A 保健福祉部長 措置費改定に算入単価の変動率を導入するのか、また導入する際には、権限移譲された平成17年度の単価を基に算出していくのかを含め、協議を進めていきます。

議員のひとこと

養護老人ホームの現状をしっかりと考え素早い改定を。



閉会中 議会活動レポート

定例会閉会中（3月～5月）の那珂市議会の主な活動をご紹介します

新任議員向けの勉強会として、那珂市周辺の原子力関連施設である三菱原子燃料株式会社東海工場、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構那珂フュージョン科学技術研究所、三菱マテリアル株式会社那珂エネルギー開発研究所、日本原子力発電株式会社東海第二発電所の視察を行いました。那珂フュー

ジョン科学技術研究所では、核融合反応を起こすために必要なプラズマの生成に成功した「JT-60SA」を視察し、東海第二発電所では、防潮堤工事の様子などを確認しました。今後も、さまざまな視察や勉強会を通して知見を広げ、那珂市をより良くするための議会活動、市政運営に活かしていきます。

新任議員向け原子力関連施設見学

実施日

令和6年5月13日(月)
令和6年5月14日(火)

活動日誌

- | | | |
|----|--------|-------------------------------|
| 3月 | 28日 | 議会広報編集委員会 |
| 4月 | 10日 | 議会広報編集委員会 |
| | 17日 | 議会運営委員会 |
| | 18日 | 議会広報編集委員会◎ |
| | | 新任議員向け勉強会 |
| | 22日 | 議会広報編集委員会取材 |
| | 23日 | 全員協議会
教育厚生常任委員会 |
| 5月 | 8日 | 議会運営委員会 |
| | 10日 | 産業建設常任委員会 |
| | 13・14日 | 新任議員向け原子力施設視察 |
| | 16日 | 総務生活常任委員会 |
| | 23日 | 原子力安全対策常任委員会 |
| | 27日 | 教育厚生常任委員会 |
| | 28日 | 議会運営委員会
全員協議会
議会広報編集委員会 |
- ◎…オンライン形式で開催



視察の様子



まちかど

ニュース

ふれあいセンターすがや 開館記念式典

令和6年6月2日(日)

次回 9 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2	3	4	5	6	7
	本会議 (議案上程など)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問など)		
8	9	10	11	12	13	14
		総務生活 常任委員会	産業建設 常任委員会	教育厚生 常任委員会	原子力安全対策 常任委員会	
15	16	17	18	19	20	21
				議会運営委員会 全員協議会	本会議 (委員長報告、 議案等採決)	
22	23	24	25	26	27	28
29	30	10/1	2	3	4	5

※会議は、原則として午前10時開会です。

令和6年第3回定例会：9月2日～9月20日

令和6年第3回(9月)定例会の日程(案)は左のとおりです。

会議は原則公開となっており、お住まいの地区と年代を所定の用紙にご記入いただくだけで、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、8月23日(金)17時までに、議会事務局までご提出ください。

議会映像を公開しています

那珂市議会では定例会、臨時会の本会議の映像を「YouTube」の動画サイトで公開しています。詳しくは、那珂市ホームページの「那珂市議会」のページをご覧ください。

(「那珂市議会」ページ内の「映像配信」から「YouTube」を開くことができます。)



編集後記

いつも那珂市議会だよりをご覧になっていただき、誠にありがとうございます。

議会だよりは、市民の皆様にも市政や議会を身近に感じていただき、注目していただけるよう広報編集委員会の委員が意見を交わし、編集や紙面づくりに取り組んでいます。

これからも、さまざまな手法を取り入れながら、議会の活動を発信していきます。
(寺門 勲)

議会広報編集委員会

- 委員長 榊原 一和
- 副委員長 寺門 勲
- 委員 桑澤 直亨
- 委員 原田 悠嗣
- 委員 鈴木 明子
- 委員 富山 豪